

だるま通信

2019年
7月号



ごあいさつ

長雨の影響で蒸し暑い日々が続く今日この頃。
かたつむりの様にゆっくりですが、転倒転落防止の
文化が根付いてきていると感じています。
今年もコツコツ頑張ります。

入院生活支援チーム 責任者 中山富貴



入院生活支援チームの活動紹介

転倒・転落予防に対する認識を高め、実践能力を養う
転倒・転落予防に対する知識を高め、アセスメント能力を向上させる
各入院棟の環境を安全面から評価し、環境整備や改善を行う



アセスメントチーム

- * 勉強会実施（年2回）
- * 過去3年分のインシデント報告から転倒転落の傾向と対策を考える



企画チーム

- * だるま通信刊行（年2回）
- * 報告会の企画・運営
参加人数を増やせるような楽しめる会となるように企画を考えていく



環境チーム

- * 売店で販売されている履物についての検討
- * 転倒予防に関する表示板の検討
- * 付き添いベッド滑り止めマットの使用状況の評価



『転倒および転落防止へのご協力とお願い』 の変更のお知らせ

患者さん入院時に配布して頂いております
『転倒および転落防止へのご協力とお願い』
が一部、修正しておりますのでみなさまご確認をお願いします。

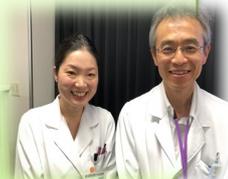
転倒・転落防止新人研修

4月10日に看護師・看護補助者新規採用者を対象に、転倒転落に関する患者の安全を守る対策や転倒転落発生時の対応についての講義、電子カルテ上のアセスメントシート、離床センサーの紹介をしました。一部新人さんのアンケートをご紹介します。

- ・どんな状況で転倒したのか言葉の説明だけでは想像しにくいけれど、写真や図を用いた説明だったのでとてもわかりやすかった。
- ・センサーが作動すると、それぞれどのような音が鳴るのが聞いてみたいと思った。
- ・転倒転落は患者さんの要因もあるけれど、それを予測した上での対策をすることが大切で、スタッフ側の要因ももちろんあるので、しっかりと予防できるようにしたいと思った。

メンタルヘルスケア～心身を整えてより良い支援を～勉強会報告

6月19日に主任公認心理師 宇田まゆみ先生より講義をしていただきました。
勉強会では実際にメンタルヘルスケアの方法を教えて頂き、こころの中に溜まっているものを『こころのコップ』と例えて、体験を通して自分の内面に集中することができ、一杯になっていたコップの水が少なくなった気がします。病院で働く私たちはひとりではなくチームで患者さんをサポートしていますが、自分自身で行うメンタルヘルスケアを行うことで、患者さん・ご家族へ適切な対応ができるようにしていきたいと思いました。 b.y. Okuda



令和1年度転倒転落予防月間（10月1日～10月30日）

テーマ：TTT〔伝えよう！転倒転落予防対策〕

10月16日（水）新規入職者対象車椅子移乗研修

10月31日（木）転倒転落予防月間報告会

今年も楽しい企画を考えておりますので、皆様、ぜひご参加ください

